

# Be ambitious!

2020. 7. 31 (金) 発行

兵庫県立有馬高等学校 第73回生 3学年通信 第3号

## 球技大会

去る、7月21日、球技大会が行われました。様々なイベントが中止に追い込まれた中で残った数少ない校内イベントでした。朝早くから、体育委員が準備をしてくれていました。ありがとうございました。ここではドッジボール大会の様子を写真で振り返っていきます。



投げた！



避けた！



取るぞ！



当たっちゃった！（さてこの後どうなった？）



最後に全体で整列したとき

ところがみんなが競技にヒートアップしてくると、これにあわせて気温も上がり、競技続行は危険の判断が出て、11時過ぎをもって大会は終了となってしまいました。

この続きは、体育大会で！

※体育委員のみなさんは、最後の片づけもありがとうございました。

残照無輝！

## 2号の学年通信で書いたこと

さて前回の「第2号」の学年通信の左側に書いたこと。みなさんは覚えていますか？

「インスピレーションは、一中略— ぎりぎりのところまで自分を追い込む努力をした人間のみに与えられるものだ」

あのとき、このように書きました。

就職する人も、進学する人も大変なのはこれからで、もし年内に進路が決まったとしても、進路決定後は何もしなくていいわけではありません。学生を受け入れる大学等も「**内定後も学校生活を引き続き頑張る**」ことを期待した上で、**総合型選抜や学校推薦型選抜を行います**。また入学してきた学生の状況をみて、「指定校」の枠を高等学校に与えるか否かを判断します（もらえないこともあります）。就職組についても同じです。先輩方の良好な状況のおかげで、現在の求人枠が保たれているのです。

指定校の枠を気にしている人がいますね。もしその枠を希望するのであれば、先輩方が道筋をつけてくれたから、利用できる手段であることを忘れないでください。つまり、他人の力（＝学校の信用）を利用しているわけです。「自分が受ければいいや」という考えだけで、この方法を使っただけではいけないのです。

進学・就職、どちらの方向に行く人についても佳い報告を私たちは聞きたいです。

ところがせっかく入学・入社したにもかかわらず、途中（3年以内）でやめる人もいると聞いています。そうになってしまう要因は学生にもあり、自分自身が十分に形成されないまま卒業してしまうことが根底にあるのではないかと考えています。そうなったら、おもしろくないですね。

そうならないために、各自強い地盤を築く必要があります。確固たる地盤を作るためには、この夏休みの過ごし方がカギです。そして表面的な勉強ではなく、中身までこだわる必要があるのだと思います。

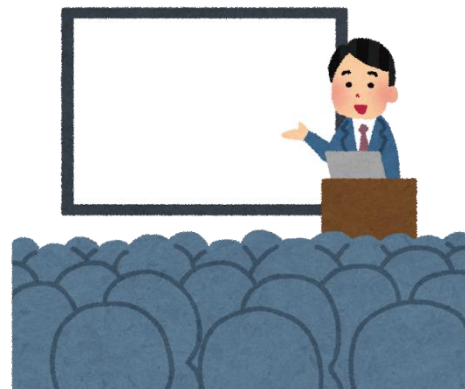
## 保護者のみなさまへ

先日はご多忙の中、また暑い中、就職保護者会（10日）・入試説明会（21日）にご参加くださいましてありがとうございました。

就職する人にとってはこの1年が学校生活最後の年です。私は10日の保護者会には同席していませんが、これまで面接練習に長く携わってきて感じているのは、受験生が学校生活を大切に過ごせているかどうかを面接の中で企業は見ているということです。企業は、人材がほしいのです。ただし「だれでも」というわけにはいきません。やはり条件に合うことが大切なのです。

また進学希望者の保護者対象の説明会でも、入試制度は「受験生が楽をするための方法ではない」と講師の先生が言われていました。学業不振等の理由で退学してしまう学生は、推薦等で早々と進路を決めた人にその傾向が強いと言われていましたが、改めて総合型選抜・学校推薦型選抜を適切に活用する必要があると痛感しました。

おうちの方は保護者会・入試説明会でどのように思われたでしょうか？



## 夏季課題一覧

| 教科・科目              | 内 容                                    | 提出日                 |
|--------------------|----------------------------------------|---------------------|
| 音楽Ⅲ                | レポート提出・発表有り<br>(詳細は授業にて別紙指示) A4サイズ2枚程度 | 休み明け最初の授業に<br>持参のこと |
| 演奏研究               | レポート提出・発表有り<br>(詳細は授業にて別紙指示) A4サイズ2枚程度 | 休み明け最初の授業に<br>持参のこと |
| 人と自然科(1組)<br>総合実習B | 自由研究(別紙指示しています)<br>A4サイズ・レポート用紙6枚以上記入  | 9月4日(金)<br>16:50まで  |

※上記以外にも、別途課題の指示が出た教科があると聞いています。注意してください。

昨年までは英・国・数を中心に、もっとたくさん課題を出されていたの比べると、ずいぶん少ないですね。

単に少なくて喜んではいませんか？ それぞれの教科からあえて課題が公式に出ない理由は夏休み中に「受験勉強に」「就職対策に」しっかり取り組んでほしいという願いがあるからです。最高学年の生徒は、他人から言われずとも、優先すべきことに自ら取り組むことができ普通なのです。そういう段階(ステージ)にそれぞれが立っているのだということをお忘れなく。

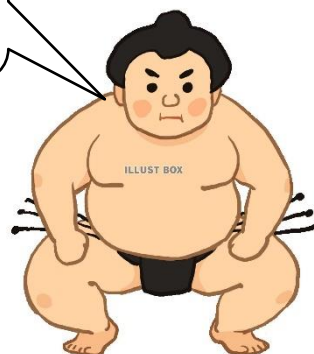
## ほんとに夏休みなんてないんです💧

右のページを見てもらっての通り、7月末に全校集会(他の学校では終業式とも言います)、8月初旬とお盆明けに夏季補習があり、休みなんて実質1週間です。

でもね、長い人生の中で振り返った時に、「あのときあんなことがあったよなっ」と、話のネタには困らない時代をみんなは生きていると思うのです。今は大変なことに変わりはありません。しかし、このような難儀な状況を逆に吹き飛ばすことができたなら、面白いと思いませんか？ こんな困難な状況にあっても入試・入社試験が突破できたら、大変価値あることだと私は思うのです。

このような状況を、単なる受け身で過ごすのか、アグレッシブに過ごすのか。もはや各自の気持ち次第です。

え？ 宿題？  
どこからでも、ど〜んとかかってこい！



## 8月の予定(9月初めまで)

| 日  | 月                     | 火            | 水           | 木           | 金               | 土          |
|----|-----------------------|--------------|-------------|-------------|-----------------|------------|
|    |                       |              |             |             | 全校集会            | 1          |
| 2  | 3<br>補習(前期)           | 4            | 5           | 6           | 7               | 8<br>全統模試  |
| 9  | 10<br>山の日             | 11           | 12          | 13          | 14<br>学校閉庁日     | 15         |
| 16 | 17<br>補習(後期)          | 18           | 19          | 20<br>就職講座  | 21<br>就職模擬面接    | 22         |
| 23 | 24<br>全校集会<br>進路ガイダンス | 25<br>通常授業開始 | 26          | 27          | 28              | 29<br>全統模試 |
| 30 | 31<br>指定校校内選考(1次)     | 9/1<br>耳鼻科検診 | 9/2<br>眼科検診 | 9/3<br>内科検診 | 9/4<br>共通T出願説明会 | 9/5        |

## 8月の全校集会

**服装・頭髪チェックがあります。**今更言うことでもないのですが、今は「行きたいところを決める」ことが君たちの究極の課題です。ピアスをしたり髪の毛を加工する等は「今すべき必要条件」ではありません。

「人は見た目ではない」とも言いますが、企業は、時間をかけて選考する余裕はありませんし、**「見た目」はその人の素をよく表します。**就職試験では面接重視の傾向であるため、教科試験を必要としないことに安心してしまってもありますが、人としての在り方は“長年かけて形成されたもの”であるため、ごまかすことができません。特に大卒者については(大手企業ほど)、高校生の時の過ごし方まで遡って尋ねられるようです。



「人は威、その容を修めることを知るも、その性を飾ることを知るなし」  
これは顧愷之の有名な作品につけられた戒めの文です(世界史Bをとっている人は資料集を見てください)。  
表面を繕うことにエネルギーをかけず、**自分の中身を磨こうではありませんか！**